

関西制覇 4年ぶり

13戦無敗

秋季リーグ戦 関西地区選手権

硬式野球部

大商大が創部初の10戦全勝で12回目のリーグ優勝を飾り、さらに昭和58年春以来の3連覇を成し遂げた。関西地区選手権でも今春に敗れた天理大学に雪辱を果たし、4年ぶりの関西制覇を達成。これで35年ぶりとなる春秋連続での全国大会出場を決めた。輝かしい記録を残し、再び聖地へ戻ってきた大商大だったが、初戦で姿を消した。

第15回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会
兼第48回明治神宮野球大会関西地区第1・第2代表決定戦
10月28日~11月1日 南港中央野球場



神宮大会は初戦敗退



第48回明治神宮野球大会
11月10日~15日 明治神宮野球場

4年ぶり

次の関門となる関西地区大学野球選手権大会は、各リーグ戦を勝ち抜いてきた関西の強豪が第1・第2代表を争う。中には春の全日本大学野球選手権大会で敗北を喫した

35年ぶり

4年ぶりの明治神宮野球大会出場。そして、春秋連続での全国大会出場

創部初

日本一への最初の関門となる関西大学野球秋季リーグ戦での優勝。3連覇を狙う大商大の初戦の相手は、龍谷大学だった。その2戦目、中盤まで0-4と龍谷大にリードを奪われる展開となったが、勝敗を分けたのは8回裏だった。龍谷大の継投で流れが変わり、4投手で7四球。大商大はこの好機を逃さず、一挙5点を奪い逆転し、白星スタートを切った。

主将・日下部光(経営)4・福知山成美がこの試合でチームの気持ちが引き締まったと言っている。ここから快進撃を続け、最終節の神戸学院大学にも2戦目でタイプレクの後、勝利した。これにより大商大は、創部初の10戦全勝と昭和58年春以来のリーグ戦3連覇の記録を打ち立てた。

天理大学もいた。まず大商大は1回戦、京滋大学野球連盟代表の佛教大学に8-2と大差をつけて勝利を収めた。そして準決勝、負け越している阪神大学野球連盟代表の天理大との対戦となった。負けたままじゃ俺たちのプライドが許さなかった。何よりチーム全員がリベンジに燃えていたこと日下部は語気を強めた。2回満塁のチャンスで細川大智(経済3・鳥羽)の内野ゴロの間に1点を先制。その後、滝野要(公共経営3・大垣日本大)の走本などで、さらに2点を追加した。直後に天理大も1点を返し反撃に出てくるが、大西広樹(公共経営2・大商大)の好投で追加点を許さず見事、リベンジを果たした。

決勝でも関西学生野球連盟代表の強敵、関西大学に4-1と勝利を収め、関西地区選手権を4年ぶりに制し、真正正銘の関西王者に輝いた。秋季リーグ戦からこれまで13戦無敗という快挙も成し遂げた。

は実に35年ぶり2回目となった大商大の1回戦は東北三連盟代表の富士大学だった。関西王者の力を見せつけたいところだったが、序盤から富士大のペースにのまれた。慣れないナイターゲームに苦戦し、5回までに大商大は3失点を許してしまった。少しでも早く自分たちのペースをつかみたい大商大は6回、ランナー1・3塁のチャンスを迎える。そこで捕逸により1点返すことに成功。さらに追加点を狙いに代打を送るが相手投手が踏ん張り、この回は1点のみで終了。もう一度反撃に出

たい大商大だったが逆風に追加点を奪われ、1-4で幕を閉じた。日下部は「雰囲気はいかにつくるかが勝負だった。日本一はあまり遠くないと感じた」と振

り返り、「経験したことを生かし、最後まで勝ち続けるチームになってほしい」と新チームへエールの言葉を残した。文・太田陸生(経済3・高松東)

「関西六大学野球秋季リーグ戦」優勝(10勝0敗)(3季連続12回目(旧リーグを含めると16回目))

最優秀選手賞	橋本 侑樹(公共経営2・大垣日本大)
最優秀投手賞	尾田 恭平(商3・智辯学園)
ベストナイン(投手)	尾田 恭平(商3・智辯学園)
ベストナイン(捕手)	太田 光(公共経営3・広陵)
ベストナイン(遊撃手)	土井 力丸(経済1・尽誠学園)
ベストナイン(外野手)	滝野 要(公共経営3・大垣日本大)
担当記者クラブ	尾田 恭平(商3・智辯学園)
平古場賞(新人賞)	橋本 侑樹(公共経営2・大垣日本大)
平古場賞(新人賞)	土井 力丸(経済1・尽誠学園)

「第15回大阪市長杯争奪関西地区大学野球選手権大会兼第48回明治神宮野球大会関西地区第1・第2代表決定戦」優勝(4年ぶり2回目)

最優秀選手賞	日下部 光(経営4・福知山成美)
最優秀投手賞	大西 広樹(公共経営2・大商大)

「第48回明治神宮野球大会」ベスト16

吉川くんのファンになりました

神宮大会でも活躍した吉川 貴大投手(公共経営1・開星)にインタビューしました!

Q:いつからピッチャーを?
A:小学校4年生から

Q:得意な球種は?
A:ストレートです

Q:いつも何を意識して投げている?
A:チームが勝つことが一番なので、バッティングにもつなげることが出来るピッチング意識している

Q:好きな食べ物は?
A:お母さんのから揚げです

Q:これからの目標は?
A:この1年の経験を生かして、目標の日本一を獲得

インタビュー時も常に礼儀正しく、いい選手だなと感じました! みんなも吉川くんを応援しよう!!



学生記者の勝手にファンNo.1 太田 陸生

ファンNo.1号

第20号

4面	1面
ウエイトリフティング部 合気道部 空手道部	硬式野球部
2・3面	
ウエイトリフティング部 サッカー部 バスケットボール部 ソフトテニス部 バレーボール部	他

関西

男子団体 3年連続



53kg級 岡本

ウェイトリフティング部

今年度、大商大ウェイトリフティング部に待望の二人目の女子選手が誕生した。岡本唯衣(公共経営3・板野)と、その後輩の板東友香(公共経営1・板野)だ。2人は関西学生ウェイトリフティング選手権大会において、2階級での優勝を果たした。だが、表彰台での板東の顔には

W ヒロイン 競演

56V



48kg級 板東

第65回関西学生ウェイトリフティング選手権大会
12月1日-2日 はびきのコロセアム

悔しさがにじんでいた。板東は11月、練習中に腰と手首を負傷し、しばらく試合から遠ざかっていた。そして、満足に調整ができていない中で今大会に臨んだ。女子48kg級に出場し、スナッチ競技では、1本目で35kgを見事に差し上げる。しかし、2本目、3本目では38kgに挑戦するも失敗

「第53回西日本学生新人ウェイトリフティング選手権大会」
69kg級 準優勝 近藤 慎(経済1・四日市工業)

「文部科学大臣杯第63回全日本大学対抗ウェイトリフティング選手権大会2部」
団体 優勝(2年ぶり1部自動昇格)
56kg級 優勝 東野 凌大(公共経営2・徳島科学技術)
62kg級 優勝 脇田 勇平(公共経営3・薩摩中央)

「文部科学大臣杯第18回全日本大学対抗女子ウェイトリフティング選手権大会2部」
団体 6位
53kg級 優勝 岡本 唯衣(公共経営3・板野)

「第65回関西学生ウェイトリフティング選手権大会」
男子団体 優勝(3年連続56回目)
男子56kg級 優勝 東野 凌大(公共経営2・徳島科学技術)
男子62kg級 優勝 脇田 勇平(公共経営3・薩摩中央)
男子77kg級 優勝 一瀬 駿(経済2・星槎国際)
女子48kg級 優勝 板東 友香(公共経営1・板野)
女子53kg級 優勝 岡本 唯衣(公共経営3・板野)

第48回全日本学生合気道競技大会
11月12日 天理大武道館



演武競技男子対武器の部



寺田

井上

僅差の 全日本4位

「第48回全日本学生合気道競技大会」
乱取競技男子団体戦 1回戦敗退
乱取競技男子個人戦 3回戦敗退
寺田 晃平(経営3・秀岳館)
井上 育歩(経済4・朱雀)
鯛 航貴(経営3・大江)
高松 祥平(経営2・大商大)
中村 豊茂(経済1・天塩)
演武競技男子対徒手の部 予選敗退
演武競技男子対武器の部 4位
高松 祥平(経営2・大商大)・山本 広大(経済1・県立和歌山)
寺田 晃平(経営3・秀岳館)・井上 育歩(経済4・朱雀)

勝となったが、本人は全く満足していないようだった。「けが明けのベストコンディションではない状態で、今の自分ができることはやり切ったが、やっぱり悔しい(板東)という言葉の端々にやるせなさを感じた。

そんな板東にとって2学年上の岡本は憧れの存在だった。小学校から周知の関係で、ウェイトリフティングを始めるときかけとなった人でもある。大学進学時、先輩の背中を追って大商大に入学してきた。板東は岡本を慕っているが、「唯衣先輩だけでなくみんなが優しく接してくれるので、困ったことは一度もない」と男子部員たちへの信頼も口にする。

岡本にとって板東は「妹みたいな存在。お互いに助け合い、高みを目指す仲間」と話す。そんな岡本もまた、故障もあり思うような成績を残せず悔いの残る1年だったという。今大会では女子53kg級で、スナッチ競技とクリーン&ジャーク競技共に1位となり、トータル140kgと2位の41kg差をつけての優勝となった。しかし「力を出し切ったので優勝ではないので、内容

空手道部

準々決勝で惜しくも敗れ、ベスト8で去ることに。全日本大学空手道選手権大会。しかし、その副将で主将の市本寛(公共経営4・おやかや山陽)が大激戦を繰り広げ、会場を熱気で包んだ。

秋の全関西大学空手道選手権大会で完敗した、強豪・近畿大学との準々決勝を迎えた大商大は、先鋒戦の釜拓治(経済1・芦北)が勝利し、流れをつかむ。しかし、次鋒戦、中堅戦と連敗、後がない状況で副将戦、市本の出番が来た。

「プレッシャーはあった方がいい(市本)と自らを奮い立たせリードしていたが、残り9秒で

第61回全日本大学空手道選手権大会
11月19日 日本武道館



「第18回パンアメリカン系東流空手道選手権大会」
一般男子個人組手-84kg級 優勝 市本 寛(公共経営4・おやかや山陽)
一般男子団体組手 優勝 市本 寛(公共経営4・おやかや山陽)他

「第60回全関西大学空手道選手権大会」
男子団体組手1部 3位
優秀選手 柏 裕樹(公共経営4・東大阪柏原)

「第61回全日本大学空手道選手権大会」
男子団体組手 ベスト8

第60回全関西大学空手道選手権大会
10月1日 大商大総合体育館アリーナ



全日本 男子団体組手 ベスト8

大激戦の

我楽多

長いようで短かった4年間。学生記者として数多くのクラブの試合を間近で見ることができ、あらためてスポーツの素晴らしさを実感しました。大商大スポーツは自分の大学生生活の思い出でした。名残惜しいですが、今後とも後輩たちが大商大スポーツをより良いものにしていくことを祈ります。(大村)

第68代体育会本部広報部長に就任しました。今号では合気道部と硬式陸球部を担当しました。企画記事しか書いたことがなく、初めてのスポーツ記事に奮闘しましたが、なんとか仕上げることができたので良かったです。まだまだ先輩に頼ってしまう場面が多いので、広報部長として一人ではできないことをどんどん増やしていけるよう頑張ります。(大嶋)

今号では広報部1年生が自覚ましい成長を見せられました。また、体育会本部が新体制となり、4月には新入部員が増えるので、これまで以上に連携が大切になると感じています。大商大スポーツは一人では完成させることができないので、みんなが助け合いながらさらさら良いものを作り上げていきたいと思います。(金城)

私の担当の硬式野球部が3号連続で1面を飾りました。今号はバントを見た瞬間に目に焼き付くようなレポート作りを意識しました。また、驚異的な記録をたくさん残してくれたので、読みなさのある記事を作成させることができました。ありがとうございます。ぜひ皆さんの感想を聞かせてください。(太田)

SHODAI SPORTS
大阪商業大学
学生生活課 課外活動支援室
発行編集
印刷 日本ビジネスアート株式会社

※文中人名後の()内は、所属学科学年・出身高校